

新春特別対談

# 地域で育む子どもの未来 野々市市で始まる コミュニティ・スクール

近年、子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑・困難化しており、学校と地域の連携・協働が重要視されています。そうした中、野々市市では今年の4月から、学校や子どもが抱える課題に地域ぐるみで取り組む「コミュニティ・スクール」を市内小中学校に導入します。

このコミュニティ・スクールの導入によって子どもたちの学びはどのように変わるのでしょうか。子どもたちの教育に携わる皆さんの対談を通して、これから始まる新たな仕組みに迫ります。

栗 貴章 野々市市長

作田 有子 校長  
野々市小学校

吉川 真季さん  
市学校運営協議会  
準備委員

豊島 真実さん  
保護者代表

越村 英生さん  
保護者代表

声を掛け合う、ということが  
自然と身について

地域との関わりで、皆さんの子ども  
時代の思い出を聞かせてください。

吉川…子どもの頃、児童館によく遊びに行きました。職員の方とお話したり、遊びを教わったりしたことが印象に残っています。数十年後、私が大人になってから子どもを連れてまたその児童館に遊びに行ったら、きに、当時いらっしゃった職員の方に声を掛けてもらったのが嬉しかったです。親子2代でお世話になりました。

越村…周りに住んでいる人たちが家族のような存在でした。周囲の大人が僕の名前を知っていて、自分も友達のお父さんやお母さんの名前を知っている、そういう環境だったので、普段の生活で何か悪いことをしたら、地域の方から叱られたりしましたね。

豊島…私の子どもの頃も、近所の人がいっつも声を掛けてくれました。人に会ったらあいさつをする、

とか相手の様子を見て声を掛けるということが自然と身に付きました。  
どんな声掛けをされていましたか。  
豊島…おはようとかのあいさつの他にも、野菜を持っていたらたくさん採れたねとか、何気ない会話を交わしていました。  
皆さん、温かいエピソードありがとうございます。今と昔では子どもたちの環境も全然違うわけですね。  
今の子どもたちの様子を見ていて何か感じることはありますか。  
作田…環境で一番違うと言えば、ネット環境ですね。今の子どもたちは驚くほど知識が豊富です。自分が興味を持ったことはどんどん自分で調べていきます。また遊びについても、家にテレビゲームやインターネットがあるので、外に出なくても、退屈しないで一人で遊べるし、ネット上で友達と遊ぶという話も聞きます。

知識、経験、出会い  
地域との交流で得られる成長  
ここまで皆さんのお話を聞いていかがですか。また市長自身も何か思い出があれば聞かせてください。  
栗…皆さんのお話を聞いて、子どもの頃の思い出がよみがえってきました。自分の家の子どものだけでなく、地域で子どもを見るというか、みんながそういう親しい付き合いをしていたように思います。ちょうど私の時代で言いますと、テレビが白黒からカラーに変わりつつある時でした。全然友達の家ではないんですが、テレビのある家から呼ばれてアニメの放送を見に行った、そんな思い出もあります。地域の方と子どもたちとの距離が近かったからじゃないかなあなんてことを思います。  
以前は地域の人とのつながりが、今よりももっと濃く、温かいネットワークだったんですね。

作田…子どもたちが本物に触れる体験というのは、非常にいい機会だと思います。市内で農業を営んでいる林農産の林さんに来ていただいた際には、米作りの詳しい話が聞けることに加え、生産者の思いも子どもたちは感じることで非常にいい体験になりました。ほかにも市菊花協会の皆さんと4年生が、時間をかけて一緒に菊を育て、展示会に出展しました。この経験は、ふるさとへの愛着を持つきっかけにもなったと思っています。  
本物に触れることができるというのは、大きなメリットですね。地域のいろんな方の知識や技術というのは幅広い教育を進めていく上で不可欠と言えます。



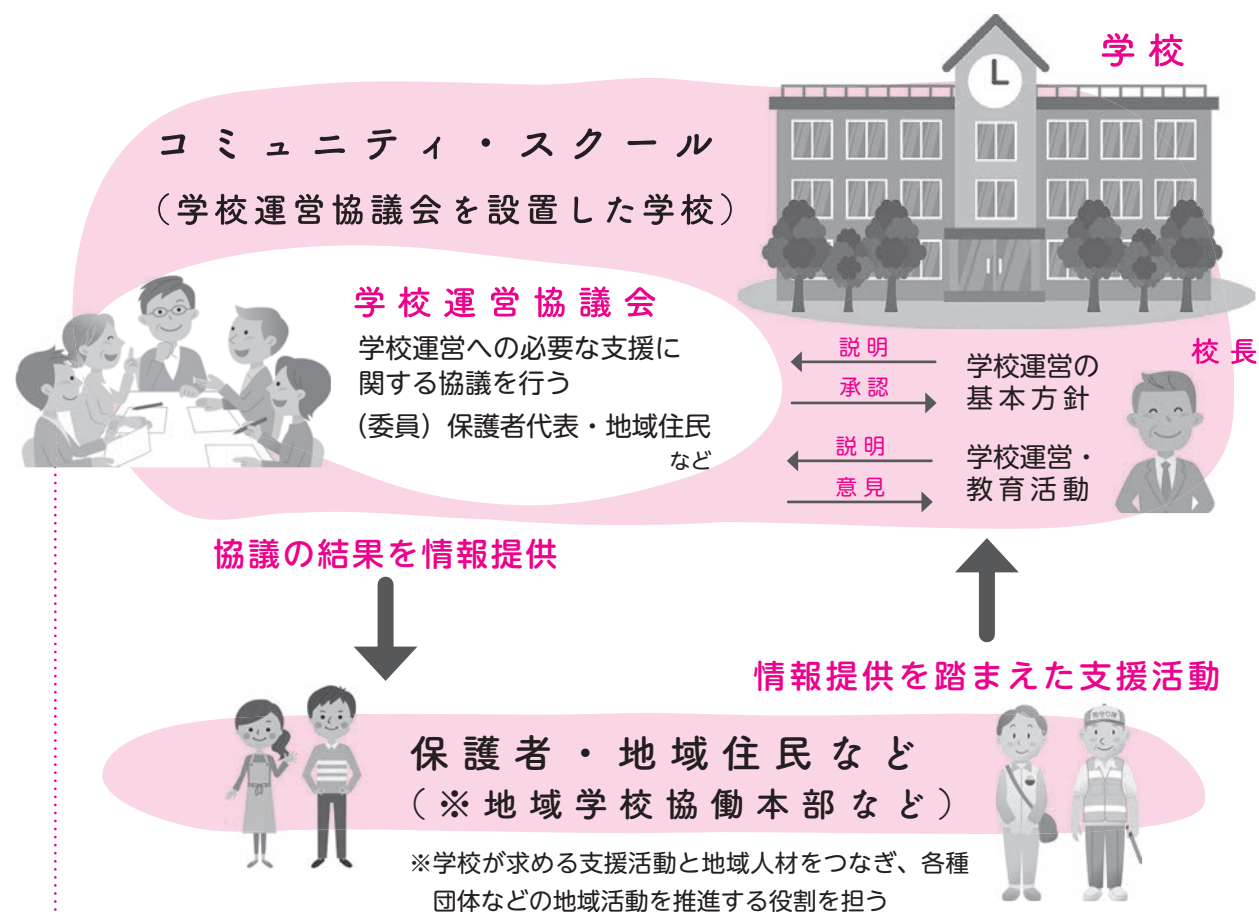
林さんによる食育講座の様子  
(富陽小学校)



# コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

## 解説編

コミュニティ・スクールは、学校と保護者の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）に基づいた仕組みです。



### 学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する（必須）
  - 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べる（任意）
  - 教職員の任用や教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べる（任意）
- ※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長に代わって学校運営を決定・実施するものではありません

市では令和4年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）をスムーズに始められるように、現在、学校運営協議会準備委員会を立ち上げ、他市の取組事例などを参考にしながら「野々市版コミュニティ・スクール」について協議しています。内容が決まり次第、改めて広報野々市でお知らせします。

地域が連携して子どもに関わっていく

コミュニティ・スクールの導入で、学校以外の場所でも、地域の子ども

こういった皆さんの意見がたくさん出てきて、それぞれの学校の取り組みにもまたつながっていくといいですね。

越村…自分としては、外での遊び方を教えてあげたいっていうのはあります。テレビゲームをやったりして、子どもたちはなかなか外に出ない。今は、公園の前を通ってもあまり人がいないんです。僕たちの時代では公園や稲刈り後の田んぼなど、どこでも遊んでいましたが、最近はそのような光景を見かけなくなりました。そこがちょっと寂しいなと思います。

学校の学習以外で子どもたちにはこんなことを学んで欲しいとか、こんなことを学ばせてあげたいなという保護者の思いもあると思いますが、いかがでしょうか。

豊島…子どもたちを見守ってくださる方がいらつしゃるので、安心して仕事に行くことができます。見守り隊の皆さんは、保護者に対しても笑顔で行ってらつしゃいとか、声をかけてくれるので、私も元

た。吉川…見守り隊の方々は大丈夫かなと不安になっていたのですが、心を察するかのようです。子どもから、見守り隊の人がいるから大丈夫と言って元気に家を出て行きました。見守り隊の方々の存在が子どもたちの安心感につながっているんだなっていうことを実感しました。

栗…見守り隊の皆さんのお話も出ましたけど、野々市では、いろいろな団体が地域と学校をつなぐ活動をされていますが、そのような団体の皆さんで構成されているののいちつ子を育てる市民会議という組織があります。このような団体がある地域は、少ないんじゃないでしょうか。地域の皆さんが団結



子どもたちの接する機会も増えると考えられます。現在でも、登下校時の安全安心の確保に欠かせない存在となっている「見守り隊」がいらつしゃいますね。

気をもらっています。

して子どもを育む仕組みがすでにあるのは本当にありがたいことです。コミュニティ・スクールの機にさらに連携を強化して、子どもの健やかな育成に向けて取り組んでいく、そんなことができればいいなと思っています。

子どもたちには、地域の皆さんから、多くのことを学び、また刺激をもらい、かつさまざまな体験を通して自分の可能性を広げて欲しいなと思っています。冒頭に、今と昔ということでしたが、地域の皆さんには、あまりかしこまらずにいいま

### 対談の様子をテレビでも！

次の日程で、新春特別対談を金沢ケーブルテレビで放送します。

放送チャンネル デジタル 009 チャンネル

放送日程		
1月2日(日)	15:00	～
1月3日(月)	18:30	～
1月7日(金)	15:00	～
1月8日(土)	18:30	～
1月15日(土)	15:00	～

すか、昔は無意識のうちに子どもたちと関わっていたような気がするの、そういうスタイルで、何らかの形で子どもたちに関心を持っていたいて、関わってもらえると大変うれしいなと思います。

（終わり）